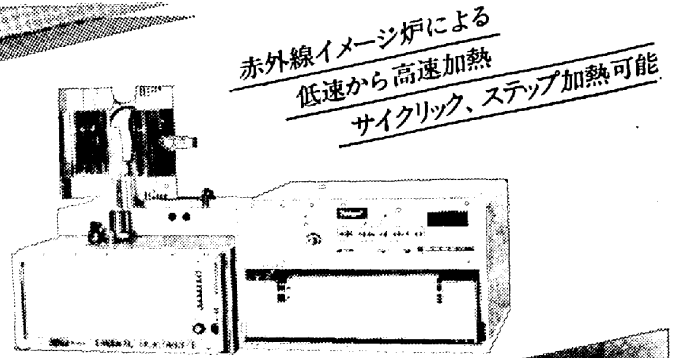
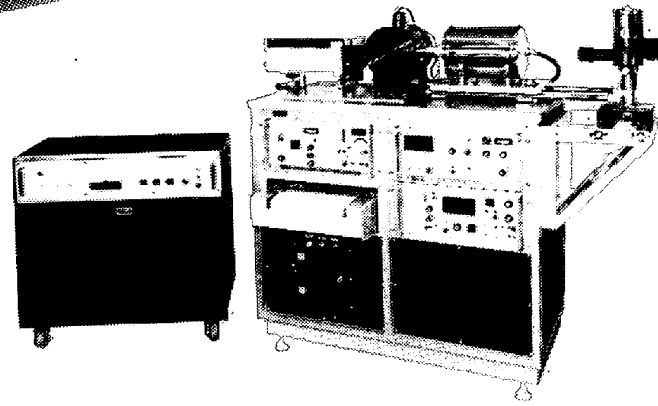


真空理工 / 高速シリーズ



赤外線イメージ炉による
低速から高速加熱
サイクリック、ステップ加熱可能

抜群の使いやすさ
熟練を必要とせず、現場の
品質管理にも使えます。

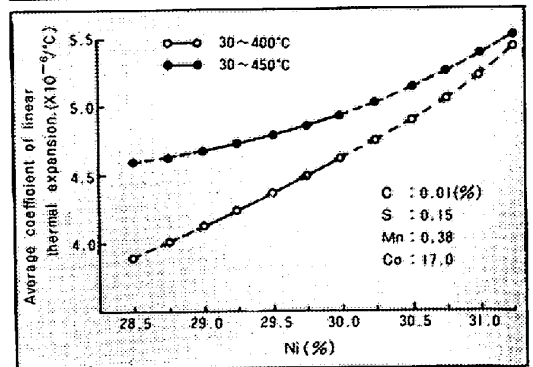
高速全-示差両用熱膨張計

DLYT-1500-RH

特長

- 試料サイズは1~20mm長, 1~7mm径。
- 鉄鋼、金属合金、高分子、ガラス、電子部品など広範囲の材料を測定できます。
- ±0.5%(10⁻⁶オーダー)の高精度測定です。
- 500°C/minの高速走査から、1°C/hrの超低速走査まで速度選定は自由自在です。
- 高速加熱後、急冷後のアイソサーマル測定が可能です。

Fe-Ni-Co合金の熱膨張測定



C, Si, MnおよびCo(17%)一定の場合の熱膨張係数は、Niの増加にしたがい単調に増加しており、Ni29.5%近傍における増加の割合はNi1%当り 0.5×10^{-6} (30~400°C) および 0.3×10^{-6} (30°C~450°C) となっている。

フラッシュ法による瞬間測定
0.1秒で熱拡散率、比熱、
熱伝導率が同時に測定。

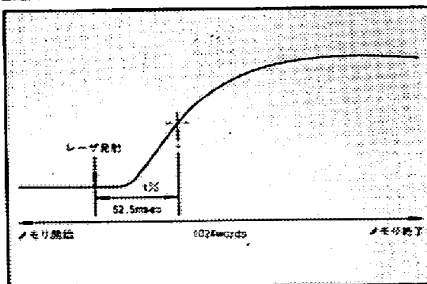
フラッシュ法 熱定数測定装置

TC-3000シリーズ

特長

- 試料サイズは10mm径, 0.1~1mm厚。
- 合金、半導体、岩石、鉱物、カーボン、プラスチック、複合材料、断熱材、ゴムなど広範囲の材料を測定できます。
- 室温から2000°C以上の超高温までの測定が可能です。
- 非接触型温度センサを用いれば、試料をセットするのみで、温度変化は光学的にとらえることができます。

ステンレス鋼のα



ステンレス鋼 JIS 304は標準試料としてよく用いられます。

試料: SUS304 ステンレス鋼

厚さ1.14mm, 直径10mm

メモリ速度: 25μsec/w

アンプ感度: ±400μV

測定温度: 室温

熱拡散率: α

$$= 0.139 \times \frac{(1.14 \times 10^{-1})^2}{52.5 \times 10^{-3}} = 0.0344 \text{ cm}^2/\text{sec}$$

ULVAC
SINKU-RIHO

真空理工株式会社

本社・工場 / 〒226 横浜市緑区白山町300 ☎(045)931-2221(代)
東京営業所 / 〒104 東京都中央区銀座1-14-4藤平ビル ☎(03)564-0535(代)
大阪営業所 / 〒530 大阪市北区梅田1-11-4-2100 大塚駅前第4ビル ☎(06)344-0325(代)

昭和二十三年十月十一日
昭和五十七年九月二十五日
印刷納本 (毎月一回) 印刷
編集兼発行人 東京都千代田区大手町一九四 経団連会館内
倉木 沢下 直
〒一〇〇〇三
電話 東京 〇三二七九
振替 東京 〇三二七九
口座 東京 七一九三番一
法人 日本鉄鋼協会
会費に含む (料は)